

〔様式 1〕

## 事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	15,4,25			
平成15年度	事業コード	14121	電話	042-769-8283
担当部課名	管理部	学校保健	課	給食係
事務事業名	学校給食施設・設備整備事業（新設校）			

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第4章	人間性豊かな子どもを育成します	事業開始年度
基本施策名	第1節	ゆとりある学校教育の創造	13年度
施策名	第2施策	小・中学校教育の充実	

## 2 実施根拠及び関連法令等

学校給食衛生管理の基準
-------------

## 3 事務の区分

自治事務
------

## 4 経費の区分

投資的経費
-------

## 5 事務事業の分類

国庫補助事業
--------

## 6 受益者負担

なし
----

## 7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
・新設小学校の給食室の整備を、学校給食衛生管理基準に基づくドライシステムの給食室に整備する。 ・給食施設の衛生管理の充実と豊かな給食の推進。	新設校 対象数 3校
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
・新設小山小学校給食室のドライシステムによる整備。	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	学校給食施設設備整備事業
計画年次	H13年度～14年度
	新設小学校の給食室の整備、学校給食衛生管理基準に基づくドライシステムの給食室の整備。

## 8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	新設校給食室の整備	整備済校(2校)+計画数(1校・小山小学校分)	給食室施設設備の充実		2	3		
	活動指標	整備校(3校)÷対象校(3校)×100	計画の推進状況の把握		67	100		

## 9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

事業費	決算(予算)額	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
	人員・時間数		1	1	0	0
	人件費		8,390	8,390	0	0
	その他経費					
	合計	0	117,682	66,490	0	0
	特定財源		600	1,825	0	0
	対象数		2	1	0	0
	対象の単位あたり経費	#DIV/0!	58,841.0	66,490.0	#DIV/0!	#DIV/0!

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A : 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B : 一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C : 達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	新築校の給食室整備にあたっては、「文部省基準」に準じて、ドライシステム方式による給食室の建設を進めている。
(2)必要性 評価 A ▼	A : 適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B : 一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C : 適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 学校給食では、平成9年度文部省「学校給食衛生管理基準」による、より安全性の高いドライシステムによる整備が求められている。
(3)有効性 評価 A ▼	A : 有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B : 一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C : 有効ではない		
		説明	学校給食は、学校教育の一環として実施されているものであり、給食施設設備整備事業は、極めて有効である。
(4)効率性 評価 A ▼	A : 優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B : 一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C : 改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 学校給食の安全を第一とし、運営効率化は、市財政の効率化につながり、市民にとって非常に有益な施策である。
(5)公平性 評価 A ▼	A : 公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B : 一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C : 公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	施設の状況により、献立等に多少の違いは見られるものの、市内全校で完全給食を実施しており、公平性は妥当である。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> ない	説明： 計画完了	手段	
		削減額	千円

11 総合評価

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較
	平成4年度より学校給食施設・設備整備計画に取り組んできている。また、平成9年度には腸管出血性大腸菌O-157による食中毒を契機に文部省から「学校給食衛生管理基準」が示され、ドライシステムによる給食室への改築が始まった。財政状況等諸条件の中、本市のドライシステム化への取り組みは、他市の取り組みに比較すると、かなり進んでいる。	
今後の進め方		
<input type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 計画どおりドライシステムの給食室の整備が完了した。
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input checked="" type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--